

鶴一中だより

令和5年度 第1号



新入生158名を迎え 令和5年度の鶴岡第一中学校が始動

今年度の入学式、新入生158名が式に臨み、保護者の皆様の出席をいただき粛々と式を執り行うことができました。「新入生呼び上げ」では、新入生一人ひとりの大きな返事に中学校生活に寄せる期待と決意を感じることができました。

校長先生の式辞では、中学校で過ごす3年間は、人生の土台作りの大切な時間であり、一人ひとりが自立し、社会に貢献できる人になることを期待する。そのために、毎時間の授業に真剣に取り組むこと、優しさや思いやり、素直さやたくましさ、正しく判断する力も大切にして、仲間と共に高め合いながら成長してほしいと励ましのことばがありました。

また、新入生を代表して大泉小出身の石田さんが、入学にあたり4つの決意を述べました。

- 一、自分の将来に向けた目標を持ち、意欲的に学びます。
- 一、決まりを守り、美しい立ち振る舞いを心がけ、周りの人に迷惑をかけないようにします。
- 一、思いやりの心を持ち、互いに助け合い、優しさあふれる行動を心がけます。
- 一、自分で考え、判断し、責任をもって行動します。

全校生徒510名と教職員が一丸となって、より良い鶴岡第一中学校を創り上げていきたいと思っております。そして、保護者の皆様方より、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

…裏面に続く

「自立」

～自分を整え 共に歩める 一人で歩める～

2・3年生 始業式

4月7日、始業式を行いました。その後、各学級で学級開きの学活が行われ、昨年度より大人になった表情の2, 3年生からは、新年度になり新たな気持ちで頑張ろうとする思いが伝わってきました。

始業式の「校長先生のお話」の全文を載せます。学校生活の在り方や新入生との接し方などについて意識すべきことが示されています。

これまでの3年間余り、新型コロナウイルス感染症の拡大によりさまざまな制限や我慢を伴う大変な学校生活を粘り強く過ごしてきた皆さんにあらためて敬意を表したいと思います。

また、昨年末に発生した学区内の土砂崩れによって被災された方々に、お悔やみとお見舞いの気持ちを伝えるとともに、心を寄せてくれた一中生、今なお復旧支援に携わっている多くの方々にも深く感謝したいと思います。

感染症対策についてもあらたな局面を迎え、これまでとは少し異なる、特別な一年になりそうですが、このような困難な状況を乗り越えていくには、皆さん一人一人の持っている様々な知恵や力を結集すること、互いを尊重し優しさや労りの気持ちをもって助け合うことが必要です。大きな災害や事故のない、皆さん一人一人にとって、健康で充実した一年になるよう願っています。

新年度のスタートにあたり、皆さん一人一人が、何かしらの思いや決意を抱いたことでしょうか。ぜひ、この節目をいいきっかけにしてください。新たな目標や習慣づけを意識するとともに、自らの良さや得意をいっそう伸ばし、反省や修正すべき点を少しずつでも改善していくことが大切です。

そのことが、自分自身、集団としての成長につながっていきます。皆さんの成長を楽しみにしています。

3年生には一中の顔として、学校全体をリードするとともに、自らの進む道を自分の意志で決め、進路を切り開いてほしいですし、2年生には1年生のいい手本となってリードしながら、3年生に向けての助走をしっかりとってほしいと期待しています。

皆さんには、だれかの言葉や指示を待っているだけでなく、自ら考え、気づき、判断し、行動に移していくという主体性をさらに伸ばしてほしいと思っています。自分を動かすのは自分です。

最後に、お願いします。本日はこのあと、入学式が行われます。新入生の皆さんには、明日以降、一中生としての自信と誇りを一生懸命に頑張る姿をおして伝えていってください。

学校は、皆さんが主役です。先生方が全力でサポートしますので、みんなで力を合わせて頑張ってください。1学期、いいスタートがきれるよう期待しています。